

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小！



あずっ子

東町小学校学校だより
8月26日発行
校長 野口 正孝
在籍児童数458名
(8/26現在)

大切な自然を残したい

暑かった夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。2学期は行事の多い学期です。特に高学年は市内体育祭や市内音楽会など、学校外の行事もあります。一つ一つの行事に目標を持って取り組んでほしいと思います。

さて、私事ですが、夏休みに高知県に行ってきました。坂本龍馬や中岡慎太郎の足跡を辿ることも楽しみでしたが、一番の目的は日本最後の清流「四万十川」を見ることでした。私は幼少期を長瀬町で過ごしました。長瀬町には名勝「岩畳」があり、荒川が流れています。子供の頃には岩畳で釣りをしたり、泳いだりしていました。ですから、川には思い入れがあり、いつか四万十川に行ってみたいと思っていましたので、念願叶った形です。

初めて見る四万十川は山あいをゆったりと流れ、川にかかる「沈下橋」と相まって日本の原風景を想起させてくれました。川には漁をする船が出ており、仕掛けておいたうなぎの罟を回収しているところでした。夕食はホテル近くの居酒屋に出かけ、川エビやウナギなど、四万十川の幸を堪能することができました。四万十川では他にもアユや川海苔も取れます。こうした川の幸が豊かなのも、地域の方が四万十川を大切にしている証だと感じました。そして、こういう自然は何としても次世代に残したいと思いました。

しかし、地域の方は水害について困っているとのこと。大雨が降ると場所によって4m近く水かさが増え、大きな水害が起きてしまうとのこと。自然と共存していくために、地域の方は苦勞しているのを知りました。こうした自然を守るためには、一人一人が自然を大切にする意識を持たなければならないと、改めて思いました。

